

令和8年2月定例仙台市社会教育委員の会議 会議録

- 日 時 令和8年2月6日(金) 10:00～12:03
- 場 所 仙台市役所上杉分庁舎 12階教育局第1会議室
- 出席委員 阿部哲也委員, 安藤直美委員, 泉山靖人委員, 齋藤愛委員, 高橋美和委員, 高橋由臣委員, 内藤良介委員, 中山慎也委員, 沼里理恵委員, 朴賢淑委員, 松本大委員, 若生彩委員 (12名出席)
- 事務局職員 伊勢生涯学習部長, 小幡生涯学習課長, 大泉生涯学習課企画係長, 岡本生涯学習課施設係長, 細川生涯学習課生涯学習係長, 生涯学習課生涯学習係金光寺主査, 石垣主任, 生涯学習課企画係大山主事

○会議の次第

- 1 開会
- 2 挨拶(松本委員長)
- 3 協議事項
 - (1) 提言書の最終案について
- 4 その他
- 5 閉会

○会議の概要

3 協議事項

(1) 提言書の最終案について

①提言書の最終案について協議を行う前に, 前回会議録に沿って, 委員長から前回会議の内容について振り返りを行ったうえで, 今回会議の目的について説明した。

●説明は以下のとおり。

- ・前回会議では, 10月会議で協議いただいた内容に基づいて, 皆様に修正していただいた最終案を持ち寄り, グループごとに再度検討を行った。その検討を踏まえて執筆いただいたものが資料3である。
- ・今回の会議では, こちらの最終案をよりよいものとしていただくため, グループごとに話し合いを行いながら内容を詰めていただく。その後, 最終決定のため, 提言書全体を通した確認作業を行う。
- ・最終案は, 事務局にて一部修正を行っているほか, 資料編については調査先団体に確認いただいたものである。
- ・今回会議が今期最終回の会議となるため, 提言書の最終確認の作業をお願いする。

②各グループで最終案の内容について話し合いを行った。

●話し合いの結果は以下のとおり。

〔地域グループより発表: 中山委員〕

- ・「はじめに」の下から4行目に「弱くなってしまった」とある箇所において, 「少なくなってしまう」という表現に修正する。
- ・21ページの中ほどにある「共通する支援の本質」の箇所において, 「3者」という表

現を「3団体」に修正する。

- ・22 ページの上から5行目に、「それに応じる人材」とある箇所を、「それに応える人材」に修正する。
- ・23 ページの一番下の行において、「アスイク、ワンダーアート、ろりぽっぷ小学校」と記載されているが、(1)で団体を紹介した順番と揃えた方が良いため、「ワンダーアート、アスイク、ろりぽっぷ小学校」に修正する。
- ・37 ページ「おわりに」の2段落目に記載のある「親子食育講座」において、他に並列されているものが「スポーツ、文化活動、体験活動」と広義のものであるのに比べて、1つだけ個別具体の事業名となっているため、「親子食育講座」の文言を削除する。
- ・資料編について、40 ページのワンダーアートの調査報告書において、事務局の方のお名前が名字のみである。他団体と体裁を揃えるため、氏名揃えて記載した方が良い。
- ・41 ページについて、「90名(～100名)」という記載の後に、「50名(～40名)」とあるが、これは正しくは「40名(～50名)」であるため修正する。
- ・同じく41 ページにおいて、中ほどに「ボーダーフリー(人の、地域の、分野の)」とある箇所について、口語体になっているため、「の」を削除する。
- ・続く41 ページ2.(3)において、箇条書きの体裁になっているが、この項目内で述べられている事項が1つのみであるため、文頭の中黒を削除し、1字下げで記載する。
- ・41 ページ2.(4)において、冒頭に「様々に連携している」とあるが、その直下で連携事例を列挙していることから、様々に連携していることが明らかであるため、冒頭の文言は不要とみなし削除する。
- ・43 ページの一番下の行の「(こちらからの質問にお答えいただく)」は不要であるため削除する。
- ・68 ページの調査担当者の欄において、「朴委員」を「朴副委員長」に修正する。
- ・71 ページの脚注に記載のあるURLにおいて、最終閲覧日を追記することで他の箇所と体裁を揃える。

〔外国グループより発表：グループリーダー 泉山委員〕

- ・26 ページ「(1)はじめに」の3行目において、「学校を通わせる」とあるため、「学校に通わせる」に修正する。
- ・26 ページ3段落目以降、「外国にルーツを持つこども」という表現が頻出するため、3段落目では「このようなこども」として表記する。
- ・26 ページ「(1)③国見小学校」について、「海外から来ている中学生等が多い」における「中学生」は「留学生」の誤表記である。この箇所について、その後の文章とのつながりも踏まえて、「海外から来ている人が多く暮らしている」と修正する。
- ・27 ページ「(2)①こどもにとっての学び」において、4行目に「国際結婚(再婚した母親が～)」という箇所について修正を行う。まず二つの文章に分けるため、「東日本大震災発生以前～中国、韓国、フィリピンを中心とする人が多かったそうです。」で一度文章を区切る。続いて、「そして、親の国際結婚により日本に来たこどもが多かったそうです。」として修正する。
- ・28 ページ(2)②の第2段落において、「短期間で母国に帰国するケース」が「ランドセルや体操着の貸し出し」だけでなく「フードバンク事業による食糧支援」にも掛か

- っているように捉えられるため、「フードバンク事業による食糧支援や、短期間で～」というように順番を入れ替える。
- ・ 28 ページの下から 2 行目において、一文が長いため修正を行う。「問いを立て、」という箇所を「問いを立てました。そこで～」として文章を区切り、続く文末も「考えてみたいと思います」を「考えました」に修正する。
- ・ 29 ページの上から 3 行目において、文章を結合する修正を行う。「～であるといえます。」を「～であるといえますが、例えば～」として修正する。続く文章においては、「という意味で用いる「居場所」という言葉は」という箇所については、「という意味で「居場所」という言葉を用いる場合は」として修正する。文末では「～できます」を「できるようです」と伝聞形に修正する。
- ・ 29 ページ下から 2 行目については、「約 7 割の学校は～こどもが通っており」の箇所を、「約 7 割の学校には～こどもが通っており」と修正する。
- ・ 31 ページ 4 行目について、「お兄さん・お姉さん」となっている箇所を、直前の「おばさんやおじさん」と表現を揃えるため、「お兄さん、お姉さん」に修正する。
- ・ 32 ページの第 2 段落において、社会学級の取り組みから国際教室の取り組みに話題が急に転換しているため、「やさしい日本語だけでは、支援する側と支援を受ける側がどうしてもコミュニケーションをうまく取れないときには、ポケトークや様々なオンライン型の翻訳ツールを活用することが有効です。国見小学校国際教室では実際に活用されています。」として、文章の末尾で国際教室の事例を紹介するよう修正する。
- ・ 53 ページのろりぼっぷ小学校の記録において、強調ではない用途で下線が引いてある箇所があるため、下線を削除する。
- ・ 55 ページからの資料編において、掲載順を調査に行った時系列順と合わせるため、SenTIA と外国人の子ども・サポートの会の掲載順を入れ替える。

③提言書全体を通して内容の確認を行った。

●話し合いの結果は以下のとおり。

○はじめに

- ・意見なし

○審議の経過について

- ・意見なし

○仙台市における現状

(安藤委員)

- ・「(3) 外国にルーツを持つこどもの現状」について、表 1-2 において、定住者・永住者・特別永住者の違いが分かるように、用語解説があるとよい。

(泉山委員)

- ・「(3) 外国にルーツを持つこどもの現状」について、表 1-5 の説明において、このグラフに載らないような、私立学校に通学しているこどももいるということが分かるよう説明を追加するとよい。

○こどもの学ぶ喜びと居場所について

(松本委員長)

- ・ 12 ページの「(2) 居場所 ④外国にルーツをもつこどもも利用しやすい社会教育施

設とすること」について、1行目が「外国籍住民」であるのに対し、3行目では「外国籍市民」となっているため、「外国籍住民」に表記を統一すべき。

(泉山委員)

- ・タイトルについて、ここを読めば提言の概要が把握できることが一目でわかるよう、「(総論)」ではなく「(提言のポイント)」などにすると良い。

○地域におけるこどもの学びと居場所

- ・意見なし

○外国にルーツを持つこどもの学びと居場所

(泉山委員)

- ・32 ページに記載のあるポケトークについて、商標登録されている商品名であるため、別の表記に置き換えた方が良い。

(若生委員)

- ・28 ページの下から7行目において、社会学級について「全国でも珍しい」という表現があるが、本当に全国でも珍しい取り組みであるのか。

(松本委員長)

- ・全国でも珍しい、特徴的な取り組みであることには間違いない。

○おわりに

- ・意見なし

○資料編

(泉山委員)

- ・70 ページの(6)活動場所の記載について、「国際教室(再掲)」とあるが、ここより前の箇所では触れられている国際教室は、場所としてではなく事業や取り組みの名称として出てきていたため、(再掲)は削除する。

④委員長から今後のスケジュールについて説明を行った。

●説明は以下のとおり。

- ・資料4をご覧ください。今回会議での議論を踏まえて修正を行い、完成した提言書については事務局より後日郵送する。提言書は、3月中に委員長と副委員長から教育長へ手渡す。その後、定例教育委員会にて事務局より報告を行う。

「仙台市社会教育委員の会議実施要領」第4条及び第5条に基づき会議録を作成し、同要領第6条に基づき委員長及び会議録署名人が署名する。

令和 8 年 6 月 5 日

委員長(署名欄)

大 平 幸 子

署名委員(署名欄)

泉 山 靖 人